

サークル学習会のお知らせ 【セクシュアリティ124号を読み合う会 第2回】

実践 ひとりひとりの“満たされたい”に寄り添いたい～相談支援の現場から～

寺部佳代子さん

日時：7月23日（木） 19：30～21：00 オンライン開催

「セクシュアリティ124号を読み合う会」の第2回は、寺部佳代子さんの実践を、ご本人のお話をお聞きしながら語り合います。ぜひ、皆さんご参加ください。

※サークル会員限定の学習会です。学習会の申し込みは必要ありませんが、サークル会員以外の方で参加をご希望の方は、サークルに入会してご参加ください。

※サークル会員の皆様には、当日までに、ぜひらるの会員一斉送信メールにて、ZOOMのURLをお知らせいたします。ぜひらるに登録されていないサークル会員の方は、メールでお問い合わせください。（shougai.seikyouiku@gmail.com）

※「季刊セクシュアリティ124号（発行 エイデル研究所）は、「障害児・者のセクシュアリティ最前線」の特集号で、サークル会員の実践が数多く掲載されています。124号をお持ちでない方は、この機会にぜひご購入いただきますようお願いいたします。

セクシュアリティ124号を読み合う会 第1回参加者の感想より（抜粋）

- 中身の濃い学習会に参加できてよかったです。特に重症心身のお子さんたちにとっての「こころとからだ」の指導について共有できたのは貴重な機会でした。
- 肢体不自由の子ども達はどうしても「自分のからだは大切だ」というのが育ちにくい、というのは本当にそうだと思います。なぜ、肢体の生徒にも性教育が必要なのか、というのを、「そんなの必要なのはあたりまえじゃないか」と個人的には思いますが、先生方に説明するために、いつもどのように伝えたら伝わりやすいかを考えています。自分のからだを知ることや、被害のことなど、伝わりやすい方法で、伝えていきたいです。
- 先日、性教協全体の読書会も面白かったですが、サークルで作者おひとりずつ実践を深めることができるのは、本当に学びが多かったです。今後、参加できるのを楽しみにしています
- 貴重な実践を報告してくださってありがとうございました。「あなたの身体ぜんぶが大切なんだよというメッセージを伝えていくこと」簡単なようで、もっとも難しいことだと感じました。大切に丁寧に伝えていくことの重要性をあらためて大事にしたいと思いました。

- 子ども達の人権を大切にした実践は本当に大切と思いました。保護者とも連携しながら、色々つながり合っての素晴らしい取り組みで、素敵だと思いました。学校生活のあらゆる機会を見つけて、子ども達に「あなたが大切」というメッセージを伝えていきたいです。